

いま、新たによみがえる 被爆ピアノの響き

朗読と被爆ピアノコンサート



被爆ピアノに触れる 子どもたち

新飯能

発行 党
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし子
973-4710み
新井たかくむ
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

8月6日は広島、9日は長崎が被爆後62年目の夏を迎えました。20万人を超える多くの犠牲者を出した原子爆弾の投下は、戦後62年経った今も、その傷が癒えない方々がいます。広島の原爆慰霊碑には「過ちは繰り返しませんから」と刻まれています。その思いをこめて、8月3日飯能市民会館で「朗読と被爆ピアノコンサート」

「ミサコの被爆ピアノ」第1部では、市内に住むのピアノニスト田島敦子さんの演奏に合わせて朗読家の飯島晶子さんにより、松谷みよ子著の「それぞれの戦争」・「ミサコの被爆ピアノ」の朗読に聞き入りました。第2部は、被爆ピアノ

ト」が開催されました。6時開場となった舞台には、広島の爆心地から1・8kmの地点で被爆し、ガラスの破片などが刺さった一台のアップライトピアノがおかれ、満席の入場者が開会を待ちました。安倍晴彦実行委員長のあいさつの後、被爆ピアノを託され、現在、修理や調律を行いながら全国でコンサート活動を続けている、広島の調律師、矢川光則さんがピアノのエピソードや演奏会への思い、また世界中に拡散している核兵器廃絶の願いを語り、朗読とコンサートが始まりました。



朗読する子どもたち

親子で平和を考えよう

新婦人飯能が平和のつどい

5日、新日本婦人の会飯能支部は富士見公民館

で「平和のつどい」を行いました。支部長の本多美枝さんが挨拶、4年前「この子たちの夏」を朗読しようということ

「つもりはない」と述べた久間元防衛大臣には、この音色はとどかないのでしょうか。

民主県政の会

街頭宣伝

人と自然にやさしい県政を
8月16日 (木)

1回目 飯能駅北口 午後6:30~
2回目 国道299 中山陸橋西交差点 午後7:10~

弁士：埼玉県知事候補が直接お話しします。その他、応援の一言

主催：飯能・日高民主県政の会



行したけれど、一人一人の思いが大事、憲法9条守ろうの草の根の運動を大きく広げ平和をまもりましょう」と挨拶しました。映画「ナガサキの子馬」、うたごえ、群読「にほんこく憲法」は、前文から9条、10条、11条、12条、19条、24条、25条、99条の条文を、子どもたちも参加して群読しました。子どもも大人も、平和について考える良いひとときをすごしました。

波 紋

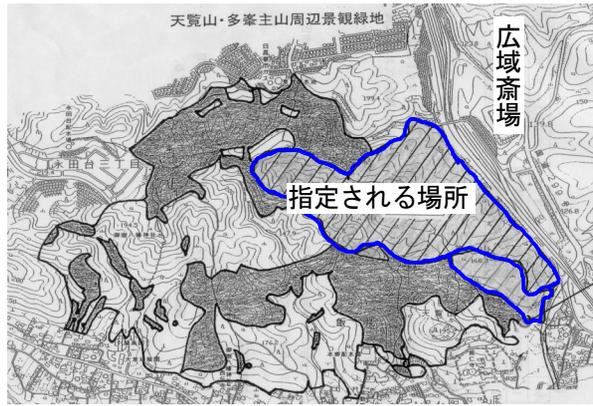
緊急に開かれた夜の会議は不思議なものでした。中国共産党の不当な干渉とたたかいぬく覚悟をもとめられた会議でしたが、帰り道、あの毛沢東の中国共産党とたたかっただろうかという不安が頭をもたげているのを抑えることはできません。▼宮本願治さんの計報を聞いて、まず頭に浮かんだのは、自主独立の路線を堅持して、相手がソ連であれ、中国であれ、日本の主権、民族自決権の侵害は絶対に許さないという理論と、確固とした信念が、まだ若かった私たちが大いに励ましたくれたということでした。▼長男の太郎さんは遺族を代表しての挨拶で「九十八年の生涯はまことに豪胆で、なにもにもこびず、明治生まれの気骨を示し続けたように思います。大変な愛国者で、父の愛国心のシンボルは富士山で、いつも選挙ポスターの図柄を富士山にすることを主張していたのを覚えております」とのべるのを聞いて、あのポスターがそうだったのかと思いました。日本の山、日本の党、その思いを受け継ぐのは私たちです。

自然を守る大きな運動のなかで

神久山周辺を景観緑地に指定へ

8月3日、飯能市環境審議会が開催されました。今年度の環境審議会は市から景観緑地指定や緑のトラスト保全地の取得の提案、また飯能市環境基本条例（仮称）の制定などがあるため4回の開催が予定されています。

第1回目となった今審議会は神田康夫氏が審議会長になり、景観緑地、トラスト保全地を現地視察しました。今回、景観緑地の指



定予定地は、国道29号沿い広域斎場手前の武蔵丘ショッピングセンター予定地の西側で神久山周辺の山林約34haと隣接する谷津田581㎡です。景観緑地に指定されると土地所有者が良好な環境保全に努めなければなりません。34haの山林は西武鉄道が住宅開発を予定していましたが、天覧山・多峯主山周辺の自然を守る大きな市民運動のなかで開発を断念し、市街

化区域から調整区域になつていたものです。また、隣接する谷津田は身近な自然を体験する場所としての活用が図られる予定です。また、緑のトラスト保全地に新たに取得を行うおとす場所は矢久橋上

流の入間川左岸、もと雨だれ荘の東側にあたる場所で965㎡です。自然護岸の残る一体は

県独自の助成求める

広域連合議会開かれる

後期高齢者医療

埼玉県の所得地や既に飯能市が所得をした飯能河原周辺の河岸緑地となつている場所です。今後協議を行い答申が出されます。現在、市民環境会議で進められていて環境基本条例（仮称）の制定などについても今後の課題となります。

後期高齢者医療広域連合議会（埼玉県下全の自治体で構成された広域議会）が7月25日に開催されました。市議会議員として選出されている日本共産党の加川義光議員（さいたま市議）は、保険料滞納者への資格証明書の発行をしないよう求める請願や保険料の減免を150件を超える請願について採択するよう求めて奮闘しましたが、不採択となりました。しかし、全国33都道府県で電算シ

ステムの整備や人件費に助成しているのに対して、埼玉県が一円も出していないことに、川口市長や新座市長も一致して不満を表明。広域連合長（斉藤所沢市長）は、「県に引き続き、要請していく」と答えました。



恒例のにしかわ祭（吾野良成会・にしかわ祭）が8月4日、国道299の旧道（吾野宿）で開催されました。今年で17回目となる祭は、山村地域の再生・活性化を目的にして会場を西川小学校校庭から国道299の旧道（通称吾野宿）に移して開催されました。保育所・小学校児童

児童センターまつりに1000人 暑さに負けず大喜び

4日、総合福祉センターで社会福祉協議会主催の児童センター夏まつりが行われました。



風船プールで泳ぐ子どもたち

今年も小、中、高校生、駿台の学生などボランティアグループ12団体、100名以上の協力で夏のまつりを盛り上げていました。今年の暑さは相当な

もので、空調設備も効かなくなるほど、しかし、子どもたちは汗だくになりながらも、風船プールで、ワーワーキャーキャーとおおよろこび。こままわし、おにぎりやキーホルダーづくり、パネルシアターや桃太郎の劇、わくわく迷路、ミニコンサート、アフリカンドラムコンサート、猿まわしと全館使つての盛りだくさんの内容におおよそ1000人の親子づれが暑さにも負けず楽しんでいました。

山村地域の活性化に

吾野宿で西川まつり

実行委員会主催）が8月4日、国道299の旧道（吾野宿）で開催されました。

の七夕飾りで飾られたとおりは子どもたちからお年寄りまで大勢の参加者で賑わいました。坂石町分居囃子で始まり、ジャンケン大会、独楽回し道化師の大道芸、歌謡ショーなど多彩な催しと夜店もいっぱい。締めくくりは大火火。十分に満足した祭になつたようです。

